

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日根野中学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

中学校第3学年、全生徒

実施生徒数（ 186人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が多く、中位層も上位層よりであるが、下位層が全国より多い傾向にある。

平均正答率（本校 75.2／泉佐野市 71.2／大阪府 73.5／全国 75.6）

「B 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、上位層の割合は、全国を上回っている。

平均正答率（本校 67.9／泉佐野市 60.9／大阪府 63.3／全国 66.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 目的に応じて資料を効果的に活用して話すことは概ねできている。 1 二 絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する。(83.3/78.1) 話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較することに課題がある。 7 一 相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する。(65.6/70.6) 【書くこと】 文章を読み返し、文の使い方などに注意して書くことは概ねできている。 4 一 答えの文章を直した意図として適切なものを選択する。(69.6/64.7)	【読むこと】 文章の構成や展開について自分の考えをもつことに課題がある 6 二 文章について説明したものとして適切なものを選択する。(60.2/67.3) 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 文脈に即して漢字を正しく書くことは全国を上回っている 9 ー 2 漢字を書く（今までにない<u>ドクソウ</u>的な考えだ）(33.9/26.1) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある 9 三 才 適切な語句を選択する（会長候補として、白羽の矢が<u>立つ</u>）(48.9/54.0) 文の成分の照応について理解することは概ねできている。 9 五 文章を書き直した意図として適切なものを選択する(59.1/50.8)

国語 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
正答率が全国と大きく差があった問題はなかった。 正答率が全国を上回った問題は、9 問中 7 問であった。	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の授業は好きですか	62.9	59.8		3.1
国語の授業は大切だと思いますか	92.0	89.1		2.9
国語の授業の内容はよくわかりますか	82.0	74.1	◇	7.9
読書は好きですか	70.9	69.9		1.0
国語の授業で学習したことは将来社会に出た時に役に立つと思いますか	87.3	84.6		2.7
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	57.2	62.2	◇	5.0
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	54.5	56.7		2.2
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけて書いていますか	76.2	66.7	◇	9.5
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	71.4	71.3		0.1
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで書こうと努力しましたか	95.2	94.7		0.5

- 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」に関して、与えられたテーマについて自分の意見を書く機会が多いが、グラフや写真など具体的に資料を示して自分の意見を書く機会が少ないので、子どもたちに実感が無い。子どもたちが力をつけるためには目的に応じて授業で資料を使って書くという取り組みを増やしていく。
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか」に関して、声が小さく、教師が復唱する場合もあるが、発言する生徒は、クラスを問わず多い。
- 「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけて書いていますか」に関して、自分の意見を書く機会が多いので、文章力がある。自分の意見を書くときは適切な接続詞を使って、根拠を書く習慣があるので、このような結果になったと思われる。
- 「国語の授業が好き」で「国語の内容はよくわかる」と感じている生徒が多く、それが学力状況調査にも反映していると思われる。「書く」ことについても、苦手意識を持っている生徒が少なく、記述の問題についても全体的に無答率が低かった。ただし、A問題については、「自分の考えと比較する」「自分の考えをもつ」趣旨の問題が、全国と比較して5パーセント以上低く、自分の意見を書く機会が多いものの、その考えを発展させていく力をよりつけていく必要があると思われる。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

・数学 A は泉佐野市および大阪府の平均正答率を上回っており、全国平均をやや上回っている。平均正答率の全体的な分布状況は全国よりもやや高いが、関数領域では平均正答率が全国とほぼ同じであり、苦手な傾向にあると考えられる。

平均正答率（本校 63.8/泉佐野市 57.4/大阪府 61.7/全国 62.2）

「B 区分問題」

・数学 B は泉佐野市の平均は上回っているが、全国平均よりはやや下回っている。平均正答率においては、ほぼ全国平均と同じであるが、資料の活用に関しては、約半分の正答率となる問題があり、苦手な傾向にあると考えられる。

平均正答率（本校 43.8/泉佐野市 38.2/大阪府 43.1/全国 44.1）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 1（1） 分数と小数の乗法の計算ができる。 (72.6/66.9) 四則計算や累乗の計算など基本的な計算ができるように指導している。 【数と式】 1（2） 自然数の意味を理解している。(46.8/40.6) 自然数、整数、正の整数や負の整数など数の概念を理解できている生徒もいるが、全国的にも正答率が低く、それぞれの意味が混合していることが読み取れる。 【図形】 6（1） 平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。(82.3/74.8) 観察、操作や実験などの活動を通して、平行線や角の性質を理解できていると考える。	【関数】 10（3） 一次関数のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求めることができる。(49.5/43.0) 関数の領域は全国的にも正答率が低い。変域の指導においては、グラフの形を想像し、どのように値が変化するかを予想する必要がある。式・表・グラフの関係を常に意識しながら指導にあたりたい。 【資料の活用】 12（2） 測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している。(43.0/34.7) 全国的に真の値と近似値、誤差という用語の意味が理解できていない。授業では、実生活の例を用いて説明する必要がある。

数学 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【資料の活用】 5（2） 与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる。(16.7/31.1) 誤答例としては、「$7260 \div 1087$」や、またそれを計算したものがあつた。合計すると 35% になっている。これは相対度数を理解していないことが考えられる。その改善のために、相対度数の意味と必要性を考え、問題に取り組むことが大切であると考える。 授業において、実生活に結びつくような問題から取り組んでいくことが大切である。	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	56.6	56.0		0.6
数学の勉強は大切だと思いますか	81.5	80.5		1.0
数学の授業の内容はよくわかりますか	65.6	69.4		3.3
数学ができるようになりたいと思いますか	91.5	91.3		0.2
数学の問題解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	75.2	72.1		3.1
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	45.0	41.9		3.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	70.0	71.5		1.5
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	68.7	69.0		0.3
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	73.0	69.8		3.2
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	80.9	81.1		3.2
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	91.6	92.7		1.1

○全体的に全国平均に近い数値となっている

全国平均と比較しても差がほとんどなく、多くの生徒が意欲的に取り組んでいると考えられる。

○実生活を数学と関連して考えられない傾向がある

数学が身近なものであるという例を挙げて、興味を持たせることが必要であると考えられる。それが、数学に関わりを持って理解しようとする意欲につながると考えられる。知識理解・技能・見方考え方の三領域がバランスよく習得できる支援が必要である。

○授業を受ける雰囲気大切である

数学を学習する上では、集中して問題（課題）と向き合い、じっくりと考え抜く力が必要となる。そのため、授業の雰囲気作りが大切である。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2を肯定的評価、3, 4は否定的評価としてそれぞれ同じ傾向と捉え、本校の子どもたちの意識調査を行った。(例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば当てはまる 3. どちらかといえば当てはまらない 4. 当てはまらない)

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較した。下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校＜本校回答率/全国回答率＞
【自分自身の様子】	① 難しいことでも失敗を恐れず挑戦している生徒が全国を上回っている。 ② 学校に行くのが楽しいと思っている生徒が全国を上回っている。 ③ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると思う生徒の割合が全国を大きく下回っている。 ④ 将来の夢や目標をもっているという生徒が全国を上回っている。	① 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。 $\lt 74.6/69.6 \gt$ ② 学校に行くのは楽しいと思いますか。 $\lt 88.9/81.4 \gt$ ③ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。 $\lt 57.6/75.8 \gt$ ④ 将来の夢や目標を持っていますか。 $\lt 77.8/71.1 \gt$
【家庭生活の様子】	① 普段（月～金曜日）、1日当たりテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしている生徒が全国を上回っている。 ② 学校の図書室を利用する生徒が全国を下回っている。 ③ 今住んでいる地域の行事に参加していると思う生徒の割合が全国を下回っている。	① 普段どれくらいの時間テレビや・DVDを見たり聴いたりしていますか。 $\lt 29.1/24.1 \gt$ ② 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校の図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。 $\lt 1.1/7.6 \gt$ ③ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。 $\lt 40.2/45.2 \gt$
【家庭学習の様子】	① 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、長時間勉強している（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）生徒が全国平均を大きく上回っている。 ② 宿題をすると答えた生徒が全国を下回っている。 ③ 授業の予習をすると答えた生徒が全国を大きく下回っている。 ④ 授業の復習をすると答えた生徒が全国を大きく下回っている。	① 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 $\lt 45.0/34.2 \gt$ ② 家で、学校の宿題をしていますか。 $\lt 73.0/80.1 \gt$ ③ 家で、学校の授業の予習をしていますか。 $\lt 22.2/34.2 \gt$ ④ 家で、学校の授業の復習をしていますか。 $\lt 33.8/51.0 \gt$ ⑤ 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学

	⑤ 教科書を使いながら家庭学習をしている生徒が全国を大きく下回っている。 ⑥ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、長時間勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）生徒が全国大きく上回っている。	習していますか。 ＜55. 5/68. 2＞ ⑥ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ＜26. 4/16. 6＞
【学校での学習の様子】	① 学級会等できまりをきめていると思う生徒が全国を下回っている。 ② 授業の中で目標（めあて）が示されていたと思う生徒が、大きく全国を上回っている。経年比較してみても、目標とまとめを意識している生徒の割合が有意に伸びている。 ③ 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う生徒が、全国を上回っている。 ④ 授業で扱っているノートに学習の目標とまとめを書いていたと思う生徒が、全国を上回っている。 ⑤ 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思っている生徒が、全国を大きく下回っている。	① あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか。 ＜71. 4/78. 4＞ ② 1，2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。 ＜90. 5/84. 9＞ ③ 1，2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。 ＜69. 9/63. 1＞ ④ 1，2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。 ＜82. 6/76. 8＞ ⑤ 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。 ＜53. 9/64. 8＞

本校の取組み

◎これまでの取組み

- (1) 体育祭の連合形式や班長制度などを用いて、生徒自ら動くという場面を多く作っている。
- (2) 地域の遺跡の歴史学習をとおして地域への興味関心を喚起している。
- (3) 2年生の職場体験をして、キャリア教育の充実を目指し、仕事をしている人に話を聞いて仕事につくためのステップを具現化している。
- (4) 読書習慣の醸成と落ち着いた学習環境づくりのため、朝の10分間の読書活動を行っている。(生徒の活字離れを抑止するためでもある)
- (5) 図書室を開放している。
- (6) 少人数習熟度別指導を行っている。
- (7) 授業規律の確立をめざしている。
- (8) 補充学習・個別指導を定期テスト前、長期休業中に行っている。
- (9) 授業改善をテーマに学力向上委員会を行っている。校内研修を通じて学習のめあてを示すことを職員間で徹底するよう働きかけている。
- (10) 昨年度、学力向上委員会で学習年間テーマとして「言語活動の充実」を提示し、研究授業を年3回展開した。

◎ これからの取組み

- (1) 実生活と教科の学習を関連させることを教員が意識していく。
- (2) 総合的な学習の時間を通して感想を書いたり仕事についてまとめたりする能力の向上を目指していく。
- (3) 読書好きな生徒の育成をめざし、朝の読書活動を継続するとともに、図書委員会の活動をすすめていく。
- (4) 教職員と、図書館司書とで連携し、図書館教育の充実を図る。
- (5) 地域の方々による講話などの学年行事、生徒会活動によるボランティア活動を充実していく。
- (6) それぞれの進路に向けて進路説明会を開くとともに、高校の体験入学を勧めていく。
- (7) 自宅学習により、一日の振り返りができることを指導する。自主的に学習する意欲を出させる。
- (8) 班活動を取り入れた活動場面を充実させていく。
- (9) 定期テストごとや長期休業中の補充学習を充実させていく。
- (10) 今後も継続して、校内研修等で教職員に「めあての提示」を推進し、教職員間に周知させ「学習の振り返り」と併せて徹底させていく。
- (11) 学力向上委員会を中心に、「言語活動の充実」をテーマに授業研究を行い、授業改善を推進する。また、学力学習状況調査結果をふまえた言語活動を取り入れた授業改善をすすめていく。